

法人の理念

キリスト教の愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護り、その人格の尊厳を尊重します。

《今月のねらい》 <テーマ> ゆったりと

ぶどうぐみ

- ◎暑い夏を快適な環境の中で健康に過ごす。
- ◎保育者に見守られながら全身で水の心地よさを感じ水遊びを楽しむ。

はとぐみ

- ◎十分な水分や休憩を取りながら、暑い夏を健康的に過ごす。
- ◎保育者や友だちのしていることに興味を持ち真似をして遊ぶ。

ひっじぐみ

- ◎友だちと一緒に夏のあそびを十分楽しみ、心地よさや開放感を味わう。

- ◎自分でできることを喜び、身の回りのことをやってみようとする。

ゆりぐみ

- ◎水遊びやどろんこ遊びを楽しむ。
- ◎十分な休息や水分補給を行いながら、暑い夏を快適に過ごす。

ばらぐみ

- ◎夏の自然事象や動植物に親しみ、興味・関心をもつ。
- ◎友だちと関わりながら夏ならではの遊びを楽しむ。

ほしぐみ

- ◎工夫をしたり、試したりしながら、夏ならではの遊びを楽しむ満足感を味わう。

- ◎友だちと遊びを楽しむ中で、約束を守ったり、自分で考えて行動できるようになる。

- ◎活動と休息のバランスをとりながら、健康的な生活がおくれるようになる。



旭丘まぶね保育園
電話 976-1912
976-0001
FAX 975-3636
E-mail: asahi-hoikuen@koinonia.or.jp
http://www.mabune.com/index.html



【今月の聖書の言葉】

「私は雲の中に私の虹を置いた。これが私と地との契約のしるしとなる」 (創世記9章13節)

梅雨が明け、毎日とても暑いですが、その分水遊びが気持ちよい季節です。水遊びをしていると、ふとした時に小さな虹が見ることがあります。色鮮やかな虹が表れたり、消えたりする様子に、子どもたちは歓声をあげますが、その不思議さに、人々は昔から様々なことを考えて来ました。例えば「虹」という漢字は、天に住む竜(大蛇)が水を飲み、地上の河に降りて来ていることを表している字なのだそう。また、英語の「レインボー」は雨が降った後に空にかかる「弓」という意味です。古代の人々にとって空にかかる大きな虹は、天と地をつなぐものとして人間の力を越えた不思議なものと理解されていたのでしょうか。聖書では虹は神様と人間との「約束のシンボル(契約のしるし)」とされています。つまり「虹を見るたびに約束を思い出しましょうね」ということですが、その約束とは、大洪水の後に生き残った人間たちに対して、神様が「もう二度と世界を滅ぼすような大洪水(大破壊)は起こしません」というものでした。言い換えれば、神様はこの世界の全ての命が、破壊され失われることは望んでいないということです。

8月は平和について考える時でもあります。世界では戦争が今もなお続いていますし、貧困も病気も無くなっていません。神様が良いものとして創られたこの世界を、破壊し尽くしてしまわないように、また全ての命を大切にすること、私たちは地球の管理を任されているということにも思いをはせながら、この夏の日を過ごしていきます。

(チャプレン 牛田 匡)

8月に入りいよいよ夏本番です。この真夏の暑さにも負けず、元気いっぱいの子どもたち。夏だからこそできる体験を通して、みんなで楽しい夏を満喫したいと思います。思いっきり遊んで、いっぱい食べて、水分補給と休息をとりながら、元気にこの夏を過ごしましょう。



	日	月	火	水	木	金	土
8月の行事・特別プログラム	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

お誕生会 (水曜日)

集金日 (木曜日)

山の日 (金曜日)

家庭保育協力日 (月曜日)

お作法 (水曜日)

体操教室 (月曜日)

体操教室 (月曜日)

夏の感染症で気をつけたいポイント

夏の感染症は、発熱やのど、目、皮膚などに症状があらわれます。よくお子さんのようすを観察してみましょう。



目 目が赤く充血している、かゆみがある、痛みがある。目やにが出るなどの場合には、まず目を触らないようにすることが大切です。気になる症状があったら病院を受診します。また、家庭内では家族間の感染を防ぐためにも、タオルの共有は避け、手洗いをきちんとしましょう。

のど・口の中 のどが痛んだり、赤くなったり、発疹が出たりします。また、口の中に発疹が出ることもあります。のどの痛みで、食事や水分補給が十分にできないこともあります。

皮膚 手足口病の場合には、手のひらや、足の裏、甲などに小さな発疹が出ます。また、とびひの場合には、虫さされや傷などに菌が入り、透明な水ぼうがができます。破れると感染力の強い滲出液(じくじくした液体)が出ます。ほかの皮膚につかないように注意が必要です。

苦情解決委員会

苦情解決担当者 柳内 美帆子 入江 あゆみ
苦情解決責任者 有蘭 律子
第三者委員 畑 健次郎 花岡 尚樹 酒井 咲子

意見箱も置いてます